

平成 28 年度児童相談所受付相談状況

全体の状況

○ 相談種類別受付件数の年次推移

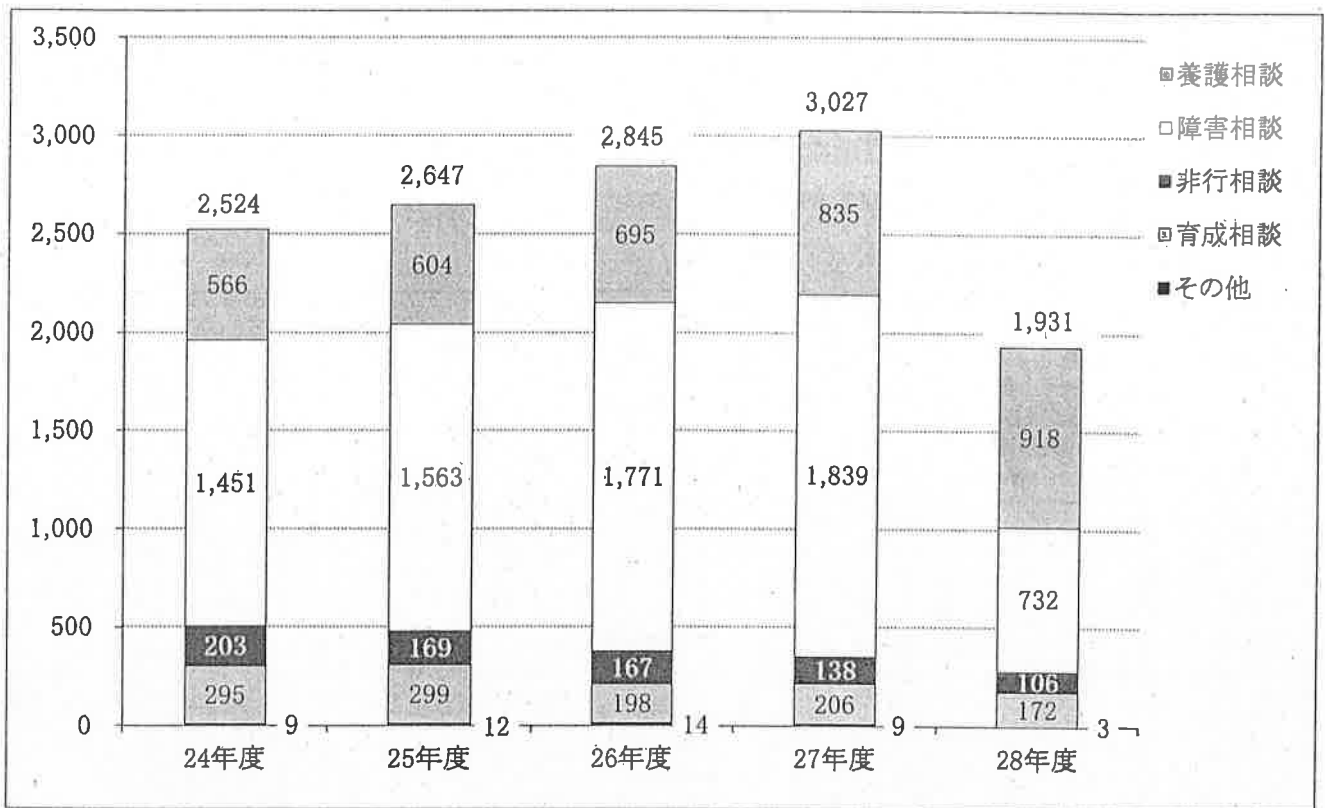
相談種別		H24	H25	H26	H27	H28	
高知県全体	養 護 相 談	566	604	695	835	918	
	うち虐待通告・相談件数	299	288	383	515	417	
	障害相談	肢 体 不 自 由	1	0	2	2	1
		視 聴 覚 障 害	1	2	0	0	0
		言語発達障害等	178	135	239	177	93
		重症心身障害	4	15	38	31	28
		知的障害	928	1,025	1,082	1,184	564
		発達障害	339	386	410	445	46
	小 計	1,451	1,563	1,771	1,839	732 ※	
	非行相談	ぐ 犯 行 為 等	93	87	82	53	52
		触 法 行 為 等	110	82	85	85	54
		小 計	203	169	167	138	106
	育成相談	性 格 行 動	256	250	166	185	156
		不 登 校	13	16	16	15	8
		適 性	22	31	12	2	5
		育 児 ・ し つ け	4	2	4	4	3
		小 計	295	299	198	206	172
	そ の 他	9	12	14	9	3	
計	2,524	2,647	2,845	3,027	1,931		

※平成28年度から特別児童扶養手当に係る判定事務(依頼書の受付等)については障害相談として計上していない。

○ 相談種類別受付件数の年次推移(相談所別)

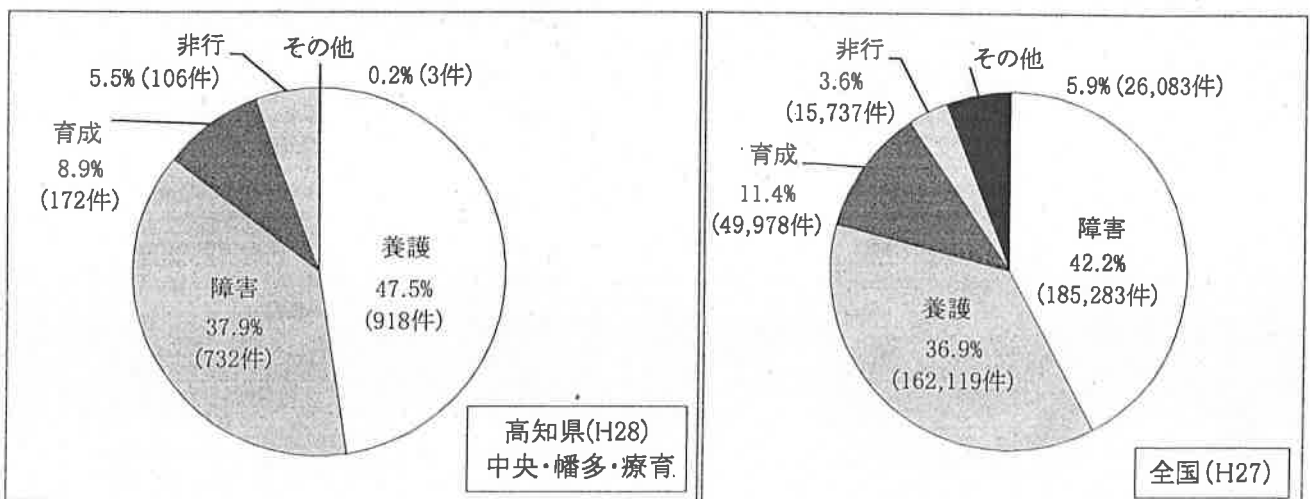
		相談種別	H24	H25	H26	H27	H28
中央児童相談所	養護相談	501	540	622	749	843	
		うち虐待通告・相談件数	272	262	347	465	398
	障害相談	肢体不自由					
		視聴覚障害					
		言語発達障害等					
		重症心身障害					
		知的障害					
		発達障害					
	小計	0	0	0	0	0	
	非行相談	ぐ犯行為等	82	76	72	46	48
		触法行為等	106	77	80	81	53
		小計	188	153	152	127	101
	育成相談	性格行動	66	70	59	74	45
		不登校	9	8	10	4	6
不適性						1	
育児・しつけ				1	2		
小計	75	78	70	80	52		
その他	5		2	1	1		
計	769	771	846	957	997		
(中央児童相談所障害児部門)	養護相談	4	1			4	
		うち虐待通告・相談件数					
	障害相談	肢体不自由	1		2	2	1
		視聴覚障害					
		言語発達障害等	128	94	211	137	74
		重症心身障害	3	11	36	30	26
		知的障害	783	862	894	1,020	489
		発達障害	264	315	328	369	19
	小計	1,179	1,282	1,471	1,558	609	
	非行相談	ぐ犯行為等					1
		触法行為等					
		小計	0	0	0	0	1
	育成相談	性格行動	135	127	67	56	40
		不登校					
不適性		17	26	9	1	3	
育児・しつけ		3	2	3	2	3	
小計	155	155	79	59	46		
その他							
計	1,338	1,438	1,550	1,617	660		
幡多児童相談所	養護相談	61	63	73	86	71	
		うち虐待通告・相談件数	27	26	36	50	19
	障害相談	肢体不自由					
		視聴覚障害	1	2			
		言語発達障害等	50	41	28	40	19
		重症心身障害	1	4	2	1	2
		知的障害	145	163	188	164	75
		発達障害	75	71	82	76	27
	小計	272	281	300	281	123	
	非行相談	ぐ犯行為等	11	11	10	7	3
		触法行為等	4	5	5	4	1
		小計	15	16	15	11	4
	育成相談	性格行動	55	53	40	55	71
		不登校	4	8	6	11	2
不適性		5	5	3	1	1	
育児・しつけ		1					
小計	65	66	49	67	74		
その他	4	12	12	8	2		
計	417	438	449	453	274		

○相談種類別受付件数の年次推移



(注) 本県では、中央児童相談所管内の障害相談については、療育福祉センターが担当しているため、同センター取扱い分を加えて比較している。

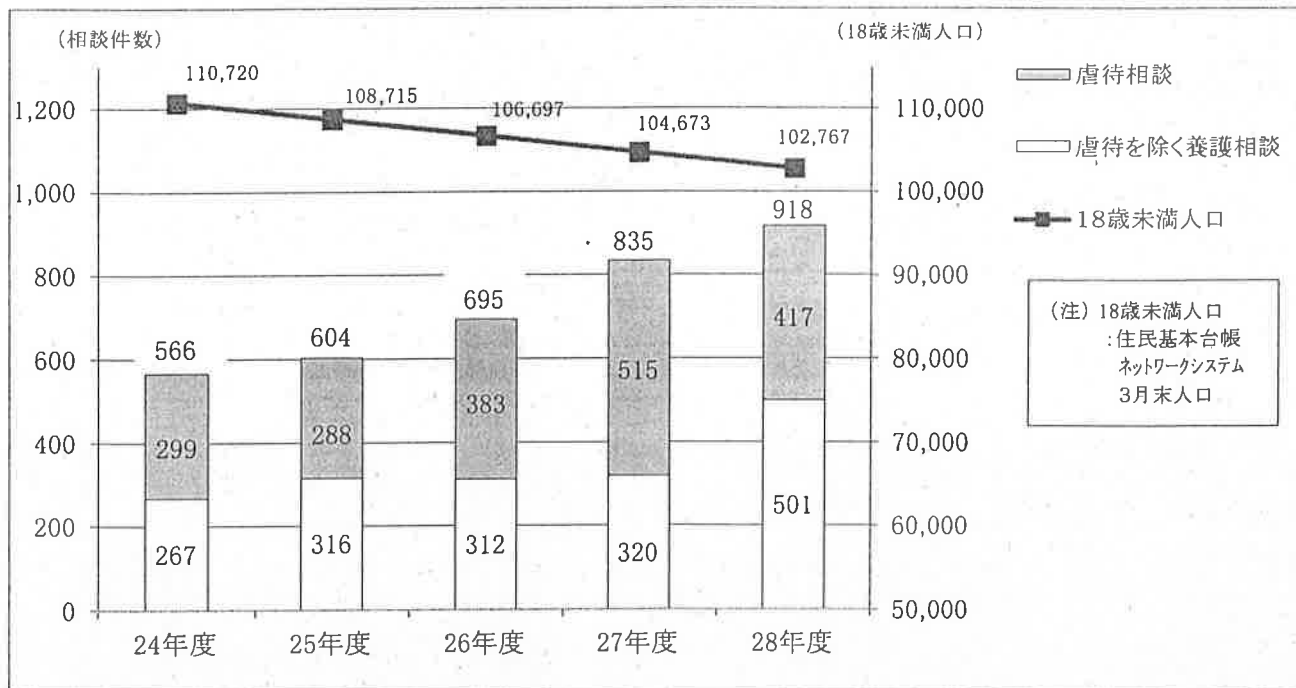
○相談種類別構成比の全国との比較



* 出典：厚生労働省『福祉行政報告例』

養護相談(虐待相談を含む)と非行相談の状況等

1 子ども人口と養護相談受付件数の推移



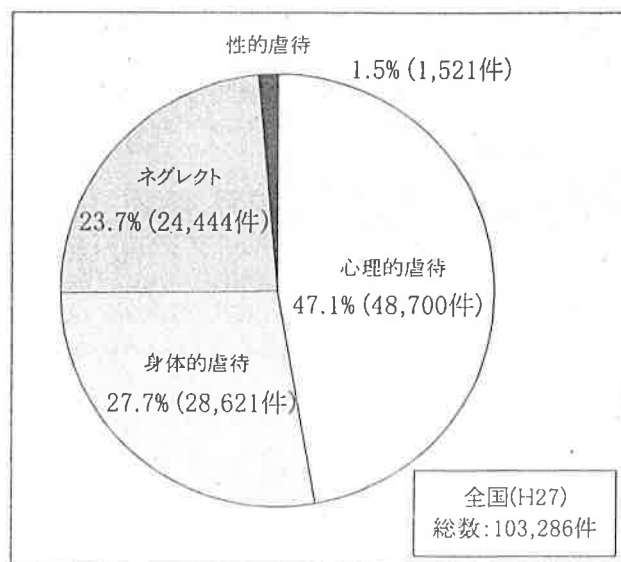
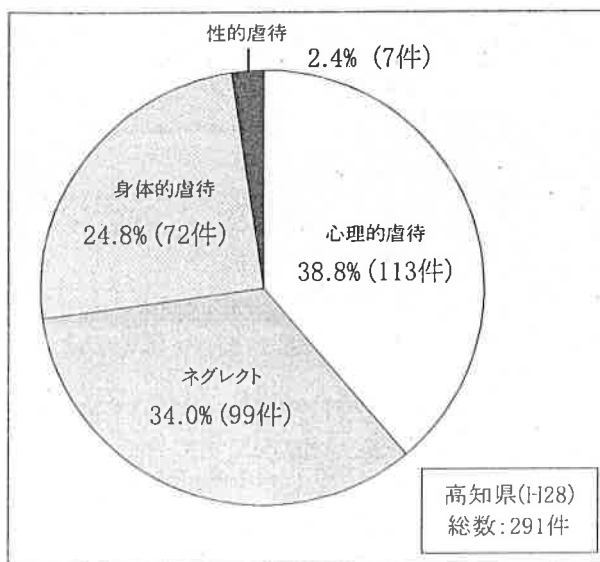
養護相談: 養育困難(保護者の家出・失踪、死亡、離婚、入院、就労及び服役等)、迷子に関する相談、及び虐待相談(身体的虐待・心理的虐待・性的虐待・ネグレクトに関する相談)

2 児童虐待(平成28年度)

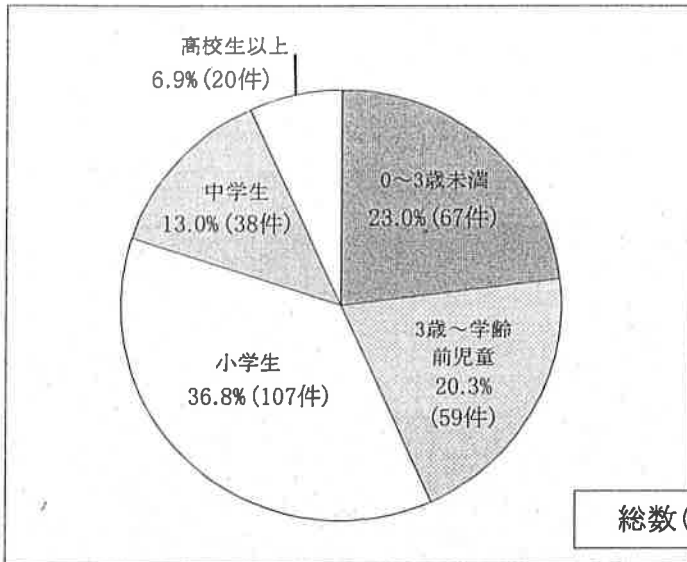
(1) 児童虐待相談対応件数 (※対応件数: 相談受理後、調査し虐待と認定し対応した件数)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
受付件数	299	288	383	515	417
対応件数	153	181	235	379	291

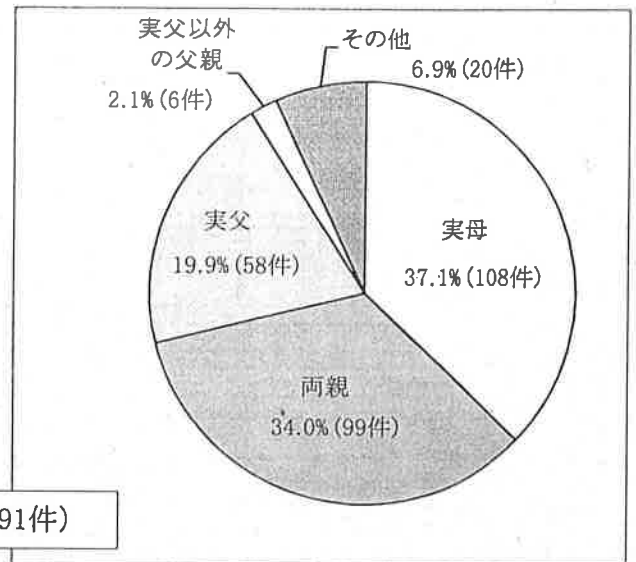
(2) 虐待の種類の構成割合



(3) 被虐待児の年齢別構成割合



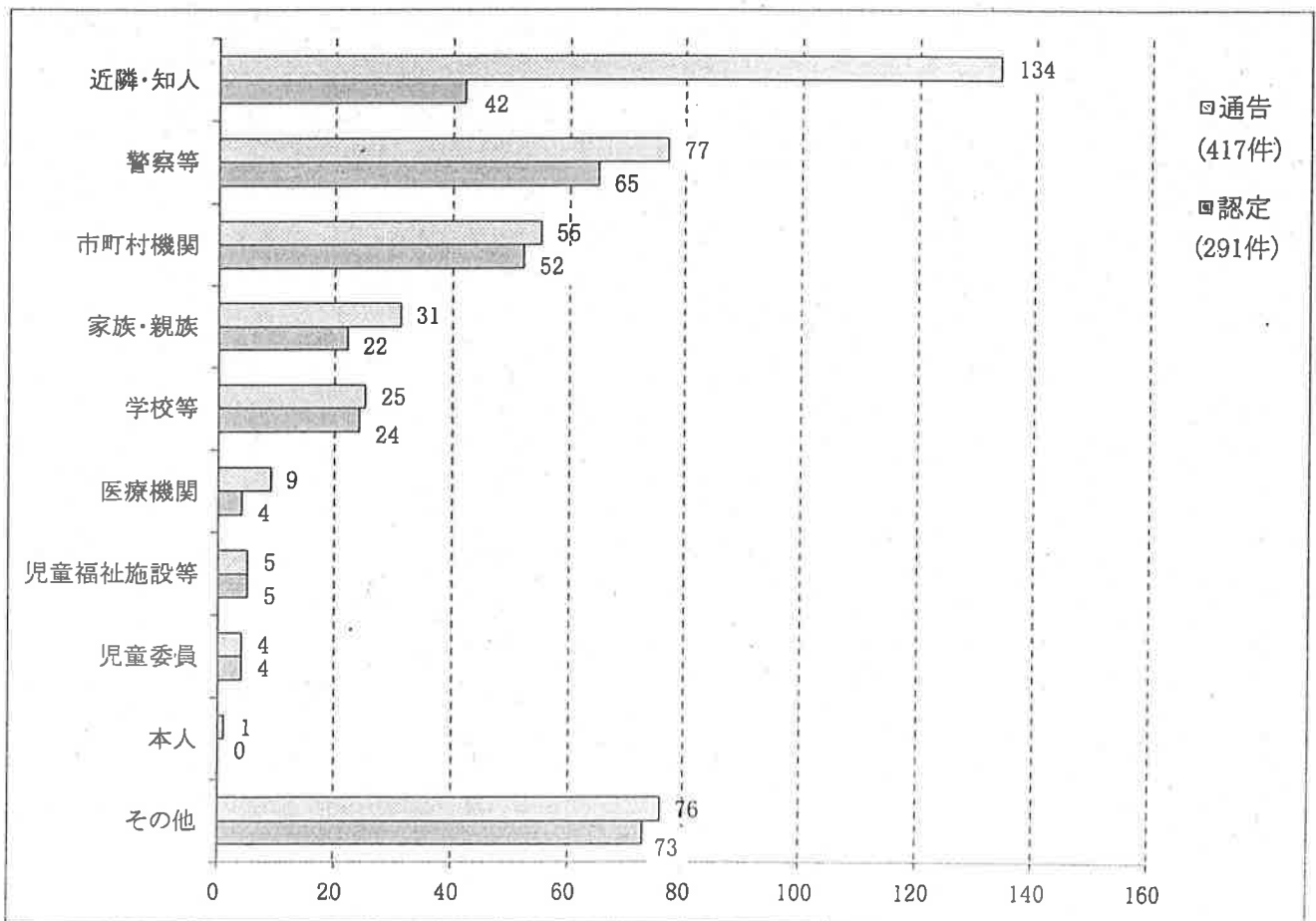
(4) 主たる虐待者



総数(291件)

(注) 『その他』は実母と内縁男性等(16件)、祖母(2件)、叔母(1件)、実母と祖母(1件)

(5) 虐待認定・対応ケースの経路別件数

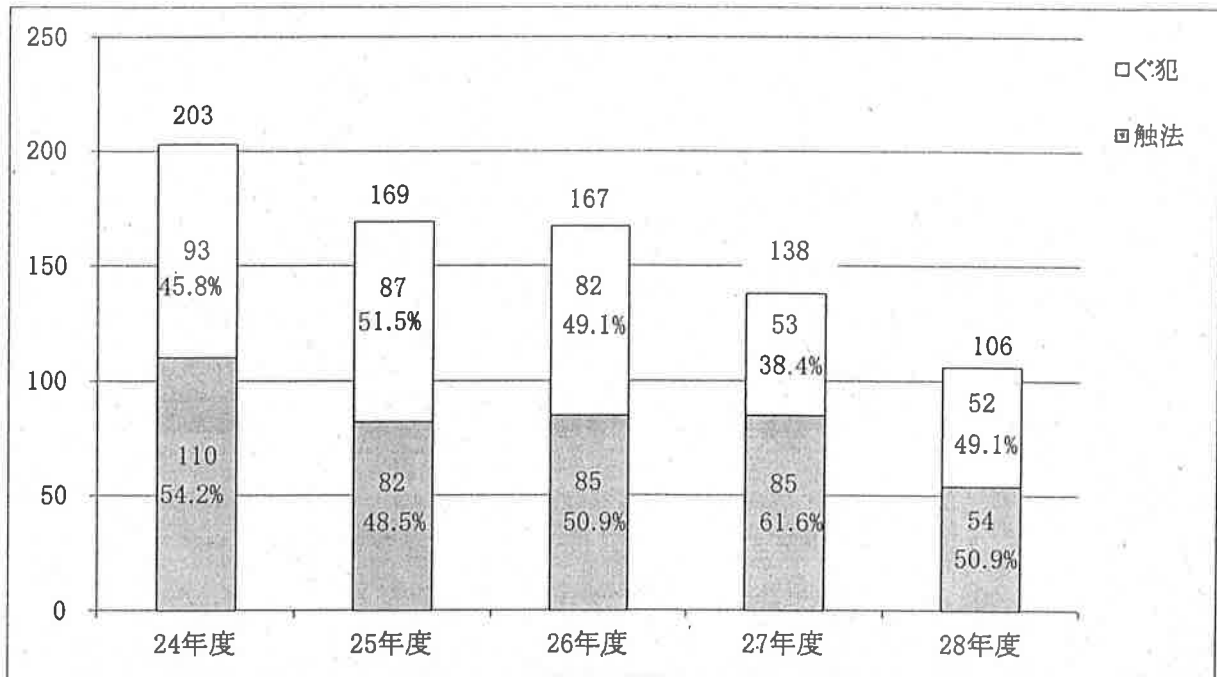


(注) ※グラフ(2)～(5)は、児童虐待として児童相談所に通告のあった417件のうち、児童虐待として対応した291件について分析したもの。また、虐待として認定されたもののうち、15件が一時保護中のため次年度の件数として持ち越された。

※その他は他県児童相談所やきょうだいケースで虐待認定したもの。

3 非行相談

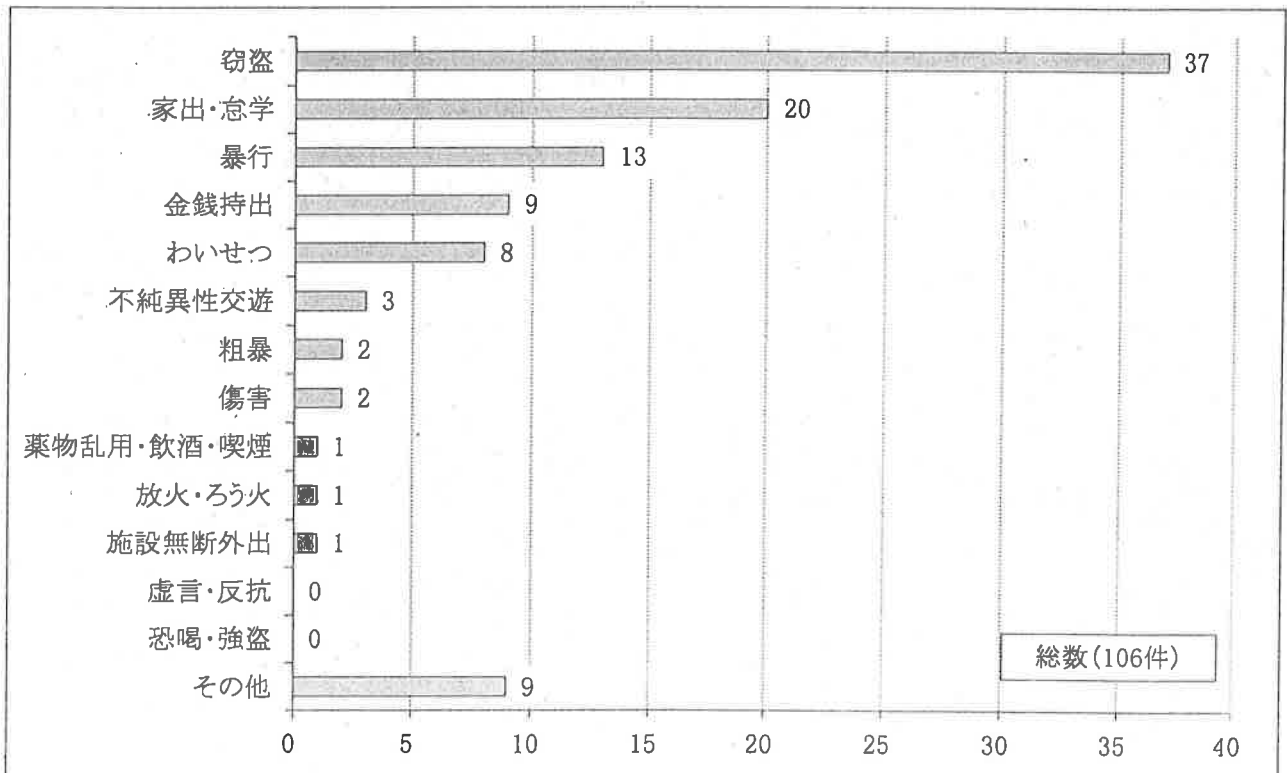
(1) ぐ犯・触法相談受付件数の年次別推移



(注) ぐ犯相談：虚言癖・家出・乱暴・飲酒・不純異性交遊等のぐ犯行為、問題行動のある子ども(ぐ犯少年)に関する相談。

触法相談：窃盗・傷害・放火等触法行為があったとして警察からの通告があった子ども(触法少年)や家裁から送致のあった子ども(犯罪少年)に関する相談。

(2) 非行相談の主訴別件数(平成28年度)



(注) 『その他』の主な内訳：器物損壊(4件)、不法侵入(2件)、深夜徘徊(2件)、買春被害(1件)

一時保護(委託)の状況

	H24年度			H25年度			H26年度			H27年度			H28年度		
	一保	委託	計	一保	委託	計	一保	委託	計	一保	委託	計	一保	委託	計
虐待 注	42 (22)	25 (11)	67 (33)	48 (38)	27 (13)	75 (51)	68 (36)	42 (16)	110 (52)	83 (58)	79 (47)	162 (105)	113 (72)	119 (45)	232 (117)
その他	60 (5)	52 (6)	112 (11)	71 (16)	45 (5)	116 (21)	53 (8)	49 (0)	102 (8)	65 (16)	95 (8)	160 (24)	74 (21)	99 (5)	173 (26)
計	102 (27)	77 (17)	179 (44)	119 (54)	72 (18)	191 (72)	121 (44)	91 (16)	212 (60)	148 (74)	174 (55)	322 (129)	187 (93)	218 (50)	405 (143)

※年度内に一時保護を開始した件数

※()は、職権保護数で内数

注: 昨年の公表資料までは国の福祉行政報告例に準じ、当該年度中に虐待認定されたもののみ「虐待」として計上し、前年度までに虐待認定されていたものは「その他」に計上していたが、今回の公表から「その他」ではなく「虐待」に計上することとし、H26年度分まで遡って集計の見直しを行った。
このため、H26・27年度の数値は公表済の数値と一致しない。